



報道発表資料

2007年10月31日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、マスターデータ管理を実現する新製品群の発表イベントを 12月4日に開催することを発表

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853）は、2007年12月4日（火）に「MDM サミット 2007」と題してマスターデータ管理を実現する新製品発表イベントを東京で開催することを発表いたします。

また、同イベントを大阪でも開催いたします。

マスターデータ管理（MDM：Master Data Management）とは、各種企業向けパッケージソフトの普及により多重に存在することになった顧客情報、社員情報、製品情報などのマスターデータを一元的に管理することで企業の経営品質向上に役立てるものです。

顧客データの重複が引き起こすCSの低下、社員情報の多重管理によるオペレーティングコスト増、類似する複数のマスターデータの存在による情報漏洩対策コスト上昇など様々なリスクを孕む企業システムの現状をマスターデータ管理システムは一気に解決します。

インフォテリアは、企業データ連携（EAI）市場No.1※の実績を活かし、今後大きな伸張が見込まれるマスターデータ管理市場に対して国産製品としていち早く本格的なマスターデータ連携パッケージ製品の提供を予定しております。

■MDM サミット 2007 in Tokyo の概要

【テーマ】：日本のITはここから変わる、ここから変える

【日時】：12月4日（火）13：30開演

【会場】：ベルサール神田

（東京都千代田区神田美土代町7住友不動産神田ビル2・3F）

【入場料】：無料

【詳細URL】：<http://www.infoteria.com/jp/event/masterdata>

■MDM サミット 2007 in Osaka 概要

【テーマ】：日本のITはここから変わる、ここから変える

【日時】：12月11日（火）13：30開演

【会 場】：梅田スカイビル

(大阪市北区大淀中 1-1)

【入場料】：無料

【詳細 URL】：<http://www.infoteria.com/jp/event/masterdata>

■ インフォテリア株式会社について

1998年に国内初のXML 専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、ビジネスにおける企業内外の多種多様な「つなぐ」を実現し、コミュニケーションを迅速化、可視化するためのソフトウェアを開発・提供しています。主力製品の「ASTERIA」は大企業、中堅企業を中心に360社以上(2007年3月末現在)の企業に導入されています。

→ <http://www.infoteria.com/>

※Infoteria およびインフォテリアは、インフォテリア株式会社の商標です。ASTERIAは、インフォテリア株式会社の登録商標です。

※本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。

※テクノシステムリサーチ社「2006年ソフトウェアマーケティング総覧」。

■ 本件に関するお問い合わせ先

インフォテリア株式会社 広報担当：嶋 かおる

TEL:03-5718-1297 FAX:03-5718-1261

E-mail:press@infoteria.co.jp